

臨床研究に関する公開情報

淀川キリスト教病院薬剤部では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法やご自身の情報について知りたい場合、この研究にご自身のカルテ情報が利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等はお答えできない内容もありますのでご了承ください。

〔研究課題名〕 血清クレアチニン低値や肥満患者におけるカルボプラチンによる血小板減少リスク

〔研究責任者〕 薬剤部 榎原 克也

〔研究の背景〕

カルボプラチンは腎機能に基づいて用量が決められます。腎機能の推定には、一般的に年齢や体重、血清クレアチニン値、性別を基にしたコッククロフト・ゴールト式が用いられます。しかし、筋肉量が少なく血清クレアチニン値が低い方や肥満の方では本来の腎機能を過大評価し、カルボプラチンの用量が多くなる可能性があるものの、これまで明らかにされていません。

〔研究の目的〕

カルボプラチンを投与された患者さまの血清クレアチニン値や肥満度(BMI)が、副作用の一つである血小板減少の発現頻度とどのように関連しているかを調査します。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さま

2013 年 1 月 1 日から 2025 年 1 月 31 日までの間にカルボプラチンを投与された固形がんの(血液腫瘍を除く)患者さま

●利用する情報

カルテ情報:年齢、性別、身長、体重、原疾患名、全身状態(Performance Status:PS)、抗がん薬の投与歴、血液検査結果

●評価項目

- ①中等度(Grade2)以上の血小板減少症発現率
- ②重度(Grade3 以上)の血小板減少症および好中球減少症の発現率
- ③重度(Grade3 以上)の好中球減少症の発現率

●情報の管理

得られた情報は、淀川キリスト教病院薬剤部でパスワード付きのファイルに保存し、集計、解析が行われます。

〔個人情報の取扱い〕

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、パスワードで保護するとともに研究責任者のみが扱い、院外へ持ち出しは行いません。

研究のために調査した情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

〔情報利用の拒否についての申出期限〕

2026 年 6 月末日まで

この研究にご自身のカルテ情報が利用されることを希望されない場合は、上記期限までに下記の「問い合わせ先」へお申し出ください。

〔問い合わせ先〕

淀川キリスト教病院 薬剤部 榎原克也

電話 0120-364-489